

National
Parks
of Japan



宿舎事業を中心とした 国立公園利用拠点の面的魅力向上 検討会の設置について

2023年 1月30日

環境省自然環境局



検討会設置の背景と新たな展開

～日本の国立公園のさらなる魅力向上に向けて～

検討の背景

- 環境省は、政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」（2016年）に基づき、国立公園の保護と利用の好循環により地域活性化を図るため「国立公園満喫プロジェクト」を推進。
- 2018年に「国立公園の宿舎事業のあり方について」をまとめ、国立公園の魅力を発信する新たな宿泊体験の提供と、既存エリア・施設の再生・上質化を目指す方向性とし、これまで各地域において取組を実施。
- インバウンドが再開する中、政府は、年度内に新たな「観光立国推進基本計画」を策定予定。
- 国立公園においても、政府全体の目標や観光政策の方向性を念頭に置きながら、利用拠点の面的魅力向上により、美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光を推進したい。

新たな展開の方向性

キーコンセプト：「**保護と利用の好循環**」 「**高付加価値化**」 「**官民連携**」

民間提案による国立公園利用拠点の面的な魅力向上



宿舎事業を中心とした国立公園利用拠点の面的な魅力向上

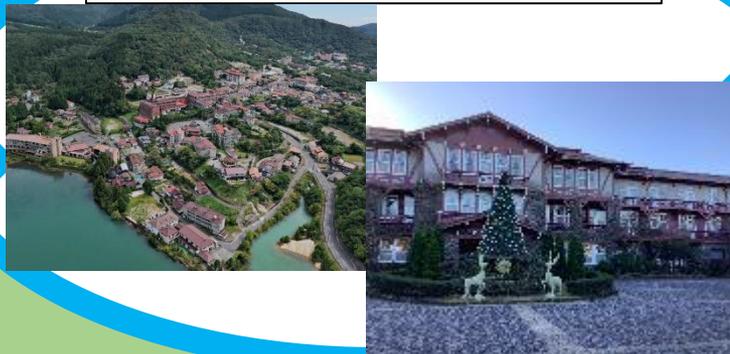
検討会における実施方針・スキーム等の検討

サウンディング調査による実現可能性確認

(イメージ図)

面的再生をパッケージで提案

民間提案による整備
(例. 上質なホテル等)



快適な利用空間



相互連携

アクティビティ



自然環境保全



相互連携

民間提案⇒
マスタープラン作成 (環境省・地域・民間)

国立公園のPR



公園計画等へ反映

公募による
初の試み

民間の発想を生かした国立公園の拠点の磨き上げ、官民による集中的な取り組み実施

事業全体の進め方

R4
R5
R6~

第1フェーズ

第2フェーズ

○検討会における議論

- ・実施方針の検討
国立公園として目指す利用拠点のあり方
対象地の条件・考え方
事業スキームの方針

実施方針の公表

○候補地の事業方向性の検討

○候補地におけるサウンディング調査

- ・事業実現可能性の確認

事業実施地域の決定（1～2カ所程度を想定）

○地域の関係者による検討体制立ち上げ

○事業実施地域毎にサウンディング調査・事業者公募

事業実施者・事業方針決定

○地域のマスタープランの検討

○個別ヒアリング

- ・事業者へのヒアリング
- ・自治体へのヒアリング

地域の受入体制醸成

← 成果の
インプット

→ 公園計画等の変更



宿舎事業を中心とした国立公園利用拠点の面的 魅力向上検討会の設置

- 国立公園満喫プロジェクト有識者会議の下に検討会を設置し、高付加価値な宿泊施設の誘致を中心として、民間提案を取り入れた官民連携による国立公園利用拠点の面的な魅力向上策の社会実装に向けた、基本的な考え方、スキーム、講ずべき施策等の実施方針についてとりまとめる。

◆ 検討会の流れ

日程	会議名	議題（予定）
2023年 1月30日	第1回検討会	①検討会の設置 ②現状と課題 ③観光庁からのプレゼン（政府の観光政策の動向等） ④民間事業者からのプレゼン（国立公園における宿舎開発の事例・課題や本事業で必要な観点等） ⑤論点（特に、国立公園における高付加価値化とは何か、実現に向けて必要なものは何か、宿泊施設の役割とは何か、民間提案の取り入れ方等）
2月10日	第2回検討会	①民間事業者からのプレゼン（国立公園における宿舎開発の事例・課題や本事業で必要な観点等） ②論点
3月14日	第3回検討会	①自治体等からのプレゼン（地域側からの宿泊施設を中心とした利用拠点の魅力向上に関する事例・課題や本事業で必要な観点等） ②実施方針（骨子案）
3月29日	有識者会議	①実施方針（骨子案）
5月頃	第4回検討会	①事業スキームの方針 ②実施方針（案）
6月頃	第5回検討会	①実施方針の決定